

令和6年度第2回川口市朝日環境センター施設整備審議会 議事録

- 1 開催日時 令和6年9月25日(水)
午後2時00分～午後3時30分まで
- 2 会場 リサイクルプラザ棟4階研修室
- 3 出席委員 (1) 川口市朝日環境センター施設整備審議会委員：14名
市民 : 大谷委員、大塚委員
学識経験者 : 八鍬会長、橋詰委員
民間団体からの選出者：田中委員、小林委員、林委員、藤田委員、
石川委員、中原委員、浅羽委員、中村委員、
上倉委員、今井委員

(2) 事務局：17名
須藤環境部長、板橋資源循環課長補佐、岩田環境施設課長、
平山朝日環境センター所長、片岡リサイクルプラザ所長、
塚平鳩ヶ谷衛生センター所長 他4名
公益社団法人全国都市清掃会議 米村技術部課長、
パンフィックコンサルタンツ株式会社 山崎技術課長 他5名
- 4 欠席委員 1名 藤原副会長
- 5 傍聴人 3名
- 6 議事等 施設概要説明
議事
(1) 審議会スケジュールについて
(2) 公害防止条件について
(3) ごみ処理方式について

7 審議会議事録

| | |
|-------------------|--|
| 1 開会 | |
| 2 施設概要説明 | |
| 事務局 | 焼却棟紹介DVD、リサイクルプラザ棟紹介DVD上映（約20分）。 |
| 委員 | 施設概要について質問なし。 |
| 3 議事 | |
| (1) 審議会スケジュールについて | |
| 事務局 | 資料1「審査会開催スケジュール」に基づき、審議会の開催スケジュールと審議内容を説明。 |
| 委員 | 異議なし。 |
| (2) 公害防止条件について | |
| 事務局 | 資料2「再整備後の朝日環境センターにおける公害防止条件について」に基づき説明。 |
| 委員 | 公害防止基準値が厳しいということは、基準を満たすための設備費が高くなるという認識でよろしいか。 |
| 事務局 | お見込みの通りであり、事務局でも課題と考えている。現在の技術水準では以前より簡易な設備で公害防止基準値を満たすことが可能であるため、全乾式を進めたいと考えている。 |
| 委員 | 資料2の別紙の事例のうち、朝日環境センターと同様に街中に設置されている事例はあるか。清掃工場は郊外にあるイメージが強い。 |
| 事務局 | さいたま市は武蔵野線の西浦和駅の近く、武蔵野市は市役所の隣など、街中に整備されている事例はある。また、街中に整備されていることから厳しい基準を設定しているという背景もある。 |
| 委員 | 現在の朝日環境センターは施設規模として余裕はあるのか。 |
| 事務局 | 現在の施設規模は420t/日の3炉であり、施設規模として足りている。市民によるごみ減量化の努力などにより、ごみ量の推移は減少傾向にある。 |
| 委員 | 今後、施設規模を検討する際は現状維持となるのか、人口推移等を加味して調整するのか。 |

| | |
|--------------|---|
| 事務局 | 人口推移及び 1 人 1 日あたりのごみ排出量について将来予測を踏まえた施設規模を設定する予定である。また、交付金要件を踏まえると、現状と同じ施設規模では交付を受けることが難しい。 |
| 議長 | 現状の公害防止基準値は、他自治体よりも厳しい値となっている。また、住民へ被害が及ばないように費用をかけることは当然であるが、過剰な条件基準は望ましくない側面もある。ただ、現状の基準を緩和することは難しく、事務局も基準の緩和は想定していないため、これを踏まえて議論いただきたい。 |
| 議長 | 新設する朝日環境センターについては、現状の公害防止基準値を適用するということでよろしいか。 |
| 委員 | 異議なし。 |
| 議長 | また、排ガス処理については、現在の朝日環境センターで採用されている湿式法では交付金の対象外となっていることから、乾式法による処理が望ましいと考える。紹介としてお伝えする。 |
| (3) 事業概要について | |
| 事務局 | 資料 3 「朝日環境センターに導入するごみ処理方式について (概要)」 資料 4 「将来の川口市のごみ処理体系について」に基づき説明。 |
| 委員 | ごみの水分量が多く焼却し切れず、燃焼温度を高温としたことから炉に不具合が生じた事例や、ごみ袋が原因で処理に不具合が生じたという事例があったため、川口市のごみの特徴から処理方式を選択してもよろしいかと考える。また、メンテナンス費用や施設の耐用年数等の条件を含めたごみ処理体系を検討するなど、より具体的に検討してもよろしいかと思われる。 |
| 事務局 | 問題意識は事務局としても同じである。まず、川口市のごみは発熱量としては 10,000kJ に近く高質であるため水分量が少ないものが多く、今回挙げた 6 方式ではいずれも対応は可能である。また、費用や耐用年数を踏まえた検討もご指摘の通りであり、メーカーヒアリングを踏まえて、ご意見いただいた観点も踏まえ来年度に審議をいただきたく考えている。 |
| 委員 | 現状はパターン 2 と認識しており、スラグ等の事業収益について大まかで構わないので説明頂きたい。継続した方が良いのかの判断材料としたい。 |
| 事務局 | 熔融スラグについては売却しており、売却額は年間 150 万円程度である。しかし、運搬費がかかるため、収益がある状態ではない。アルミ・鉄に関しても、近年は価格が低くなっているため、年間 20 万円程度の売却額となる。 |
| 委員 | 熔融スラグとせずに、灰を資源化する方法もあるというが、事例はあるのか |
| 事務局 | セメント化等、資源化手法が複数あり、これらを選択している自治体はある。ただし、コストはかかるため、費用面を加味した検討が必要である。 |

| | |
|-----|---|
| 委員 | プラスチックのリサイクルも自治体によっては開始しているが、今後川口市で実施していくのか。ごみ質にも影響があると考えられる。 |
| 事務局 | プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律に対応する予定である。具体的な内容はこれからの検討となるが、朝日環境センターの再整備に関する事項として、同法への対応を行わなければ交付金が受けられないということもあり、対応を進める予定である。ごみ組成については、プラスチックのリサイクルを行うことで、ごみ質には変動が生じると考えられるため、これらの計画を見据えて施設規模を検討する。 |
| 委員 | 現状も埋め立て処理をしているが、パターン1を選択すると埋め立て量はどの程度変化があるのか。 |
| 事務局 | 朝日環境センターの整備当初は、焼却する場合と比較して4分の1程度になるとのことだったので、単純に4倍と捉えられる。しかし、技術の進歩により、燃え切り性能もよくなっていることから焼却灰の量は4倍程までは膨れ上がらないと推測できる。今後、調査し整理していく予定である。 |
| 委員 | プラスチック対策が取られた際の排ガスの質や処理方式の影響について説明いただきたい。 |
| 事務局 | プラ新法への対応として、令和5年度に川口市の排出ごみのうち、資源化が可能なプラスチックの含有量調査を行ったところ、1.4%という結果になった。これを基に低位発熱量への影響を検討したところその差は微量であるため、全量が分別されたとしても排ガスの質、処理方式及び施設規模等には影響がないものと考えている。 |
| 委員 | ガス化溶融方式はダイオキシンの対策として採用された方式と認識しており、2000年代初めには実績が多く見られたが、近年、実績としてはあまり見られなくなった。近年、ガス化溶融方式が採用されない理由はあるのか。 |
| 事務局 | ご指摘の通り、2000年代初めはダイオキシン対策としてガス化溶融方式が多く選択されたが、昨今では技術の向上や排ガスの急冷などをはじめ、ダイオキシンを合成させない手法が開発されており、焼却方式でもダイオキシン対策が可能になったことから採用件数が減少したと考えられる。 |
| 議長 | 環境省から溶融炉の設置が指示されたが、ダイオキシンの処理が焼却方式でも対応可能となったことや、交付金の条件が変更となった経緯から、灰溶融を廃炉とした事例が見られる。また、横浜市は10月1日から容器包装プラスチックに加え、製品プラスチックの資源化が開始される。今後、川口市も実施していくものとする。容器包装プラスチックの資源化を行っている都市ではあまり大きな影響は出ないと思われるが、この資源化を行っていない都市では課題が多く発生するのではないかと考える。 |
| 議長 | パターン1のメリットに「多様な灰の資源化方法を選択できる」と記載があるが、メリットとなるのかは疑問である。価格が低い資源化は競争率が高く選択できず、コストがかかる資源化が選択しやすいということになるため、経済性 |

| | |
|---------|---|
| | の観点からもしっかり検討する必要があり、メリットが変化すると考えられる。今後、資料についても経済面を加味した内容として頂きたいがこの内容について異議はあるか。 |
| 委員 | 異議なし。 |
| (4) その他 | |
| 議長 | 全体を通して何か意見・質問はあるか。 |
| 事務局 | 前回の審議会でWeb会議の議論があったが、通信の制限等から会議については原則対面とし、その上で、会場には行けないがWeb会議での出席は可能という場合は、事前連絡の上、Web参加という対応としたい。 議事録の署名については、次回会議までに議事録を確認いただき、会議終了後に前回会議録の署名を行うという流れとしたい。 |
| 議長 | 全体Web開催は意思疎通が困難と考えていた。どうしても会場に来られない人をWeb参加とするとの事務局案に異議はあるか。 |
| 委員 | 異議なし。 |
| 議長 | 議事録の署名の件についてはいかがか。 |
| 委員 | 異議なし。 |
| 議長 | 全体を通して何か意見・質問はあるか。 |
| 委員 | 質問・意見特になし。 |
| 議長 | 他になければ本日の議事を終了とする。 |
| 事務局 | 次回の第3回審議会は、10月25日(金)14時より、朝日環境センターリサイクルプラザ棟にて開催となる。また、施設見学会へ参加する委員は会議終了後待機頂きたい。 |
| 4 閉会 | |

会議の概要については、以上のとおりです。

令和6年10月25日

川口市朝日環境センター施設整備審議会

会 長.....(八鍬会長署名).....

委 員.....(大谷委員署名).....